

DIニュース

今月のトピック

保存

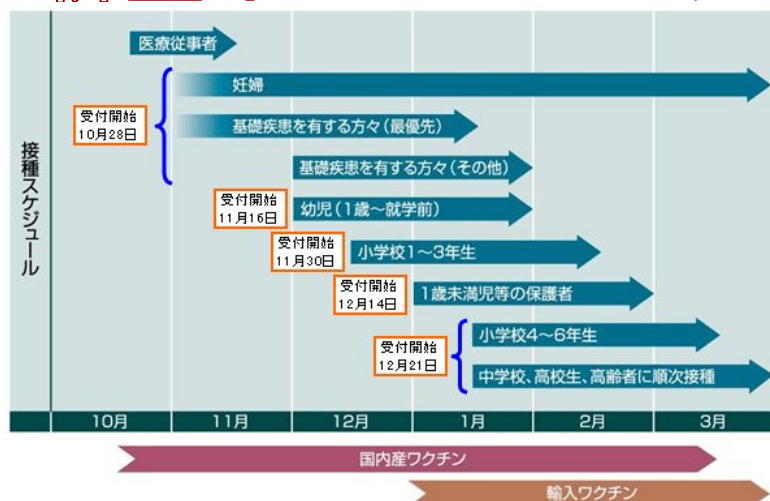
NO.107

発行日 2009.10.29

第二中央病院薬剤課



新型インフルエンザワクチン Q & A



当院でも、新型インフルエンザワクチンの接種が始まっています。

今回は、新型インフルエンザワクチンについての質問について取り上げました。参考にして下さい。

※10/29 時点のものです。

Q1. 2 回接種を行う場合、新型インフルエンザワクチンの1回目と2回目の接種の間はどの位あけたら良いですか？

A1. 国内産の新型インフルエンザワクチンの添付文書には、2回接種を行う場合は1～4週間の間隔を、免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましいとされています。

Q2. 季節性インフルエンザワクチンは新型インフルエンザにも効果がありますか？

A2. 季節性インフルエンザのワクチンは今回の新型インフルエンザウイルスに対しては有効ではないと考えられています。

Q3. 季節性インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチンは同時に接種できますか？

A3. 2種類のインフルエンザのワクチンを両方接種するときは、片方を接種してから最低でも6日間空けてからもうひとつを接種することが望ましいとされています。同時に接種することが体に影響をあたえるとかいうことではなく、万が一副反応が出てしまったときにどちらのワクチンによるものか判断がつかないからです。

医師が必要と認めた場合には、同時接種が可能であるとされています。

Q4.. 新型インフルエンザワクチンの接種による副反応は？

A4.<重大な副反応>

因果関係は必ずしも明らかではありませんが、ギランバレー症候群、急性脳症、急性散在性脳脊髄炎、けいれん、肝機能障害、喘息発作、紫斑などの報告がまれにあります。

<その他の副反応>

- 1、局所反応(11.6%) : 発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感等。通常 2～3 日後消失する
- 2、全身性反応(11.3%) : 発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、関節痛、筋肉痛等。通常 2～3 日後消失する
- 3、過敏症(0.1%未満) : 接種直後から数日中に、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、そう痒がみられる

Q5. 新型インフルエンザワクチンの効果はどのくらい持続しますか？

添付文書より

被接種者の有効予防水準到達度(3 週間間隔で 2 回接種の場合)

	接種 1 カ月後	接種 3 カ月後	接種 5 カ月後
到達度	77%	78.8%	50.8%

A5. 2 週間間隔で2回接種した成績によると、2回目の接種1～2週後に抗体が上昇し始め、1 カ月後までにはピークに達し、3～4カ月後には徐々に低下傾向を示します。したがって、ワクチンの予防効果が期待できるのは接種後2週から5カ月程度と考えられています。

Q6. 内服薬との相互作用は？

Q6. 慎重投与: 免疫抑制剤

免疫抑制的な作用を持つ製剤の投与を受けている方、特に長期あるいは大量投与を受けている方はワクチンの効果が得られない恐れがあるので併用注意する。

Q7. 妊婦に対しても新型インフルエンザワクチンを接種することができますか？

催奇形性はないのですか？

Q7. 日本で使用されるインフルエンザワクチンは、生ワクチンではないので妊婦に対して特に重篤な副作用は起こらないと考えられ、一般的に妊娠中の全ての時期において接種可能であるとされています。また、妊娠初期に従来のインフルエンザワクチンを接種しても奇形のリスクがないという研究結果もあります。

なお、新型インフルエンザワクチンには、プレフィルドシリンジ製剤とバイアル製剤があり、プレフィルドシリンジ製剤には保存剤の添加は行われておらず、保存剤の添加されていないワクチン接種を希望する妊婦は、プレフィルドシリンジ製剤が使用できることとなっています。

プレフィルドシリンジは妊婦優先とされており、当院では入荷予定は今のところありません。



新型インフルエンザワクチンのバイアルです。
10ml製剤(18～20 人用)と1ml製剤(2 人用)があります。

※季節性は青色のバイアルなので注意して下さい

